



6月のレース結果

古座川国際ロードレース 2023 (UCI 1.2) 6月2日(金)

参加選手: 山本哲央・河野翔輝・岡本勝哉・徳田優
悪天候のためレースキャンセル

第23回 TOUR de 熊野 2023 (UCI 2.2) 6月3~4日(土・日)

参加選手: 山本哲央・河野翔輝・岡本勝哉・徳田優

第1st_ 50位: 岡本勝哉 / 51位: 山本哲央 / 57位: 河野翔輝 / 91位: 徳田優
第2st_ 15位: 河野翔輝 / 岡本勝哉 (DNF) / 山本哲央 (DNF) / 徳田優 (DNF)

群馬 CSC ロード 6月大会 6月10~11日(土・日)

参加選手: 河野翔輝

Day1_ 7位 河野翔輝 / Day2_ 悪天候のためレースキャンセル

アジア選手権トラック (マレーシア・クアラルンプール) 6月14~19日(水~月)

男子チームパシュート_ 優勝: 窪木・橋本・今村・兒島・松田 ※予選は松田
3分51秒055 (日本新・アジア記録更新)

男子チームスプリント_ 優勝: 長迫・太田・小原

女子チームスプリント_ 2位: 酒井・太田・佐藤

男子個人パシュート_ 優勝: 窪木一茂 / 2位: 松田祥位

男子スクラッチ_ 2位: 今村駿介

男子ポイントレース_ 優勝: 兒島直樹

男子マディソン_ 優勝: 窪木一茂・今村駿介

男子オムニアム_ 優勝: 橋本英也

男子エリミネーション_ 優勝: 橋本英也

女子スプリント_ 優勝: 太田りゆ

※予選 200m フライングタイムトライアル 10秒596で日本記録更新

女子ケイリン_ 3位: 太田りゆ

全日本選手権個人タイム・トライアル・ロード・レース大会 6月23~25日(金~日)

参加選手: 山本哲央・河野翔輝・岡本勝哉

男子エリートタイムトライアル_ 19位: 河野翔輝

男子U23ロードレース_ 19位: 岡本勝哉

男子エリートロードレース_ 河野翔輝 (DNF) / 山本哲央 (DNF)

7月レース予定

第3回石川クリテリウム 7月15日(土)

<https://jbcfroad.jp/race/212/>

参加選手: 未定

第21回石川ロードレース 7月16日(日)

<https://jbcfroad.jp/race/213/>

参加選手: 未定

チームブログでは、レースの翌日お昼に結果と選手のコメントを公開しています。ぜひこちらもチェックしてください!

<https://www.bsycle.co.jp/anchor/blog/Team-Blog/>

※各レースの参加選手が変更となる場合もありますご了承ください。

メダルラッシュ! 世界選手権へ向けての弾みに アジア選手権トラックレース

6月14~19日(水~月)までの6日間にわたって、
アジア選手権トラックレースがマレーシアのニライで開催されました。



今回の大会は、パリ2024オリンピックの出場枠がかかる非常に大事な大会です。アジアの強国日本ですが、「負けない大会でしっかりと勝つ」という今村選手の言葉通りに、金メダル8枚、銀メダル3枚、銅メダル1枚という好成績で幕を閉じました。



チームパシュートの予選・決勝での日本記録更新(3分51秒055)や太田りゆ選手の女子スプリント200mフライングタイムトライアルでの日本記録更新(10秒596)など、タイムの面でも成長が感じられた大会でした。

今度です。パリ2024オリンピック出場。そしてその先にあるチームブリヂストンサイクリング最大の目標「オリンピックでのメダル獲得」に向けて夢を叶える選手たちを、引き続き応援よろしくお願いたします。

大阪の堺ステージのタイムトライアルを皮切りに、ロードレースは京都からスタートし、いなべ、美濃、信州飯田、富士山、相模原と毎日東へ移動し最終ステージを東京で締め括る、8日間のステージレースです。

出場選手は窪木一茂、橋本英也、今村駿介、兒島直樹、松田祥位、河野翔輝

大観衆の前でみんなの思いをつなぎ 窪木が優勝! TOJ 東京ステージ

今年もやってきました、日本最大規模のステージレース、ツアー・オブ・ジャパン!
今回は4年ぶりにフルパッケージでの開催となりました。



そんな中、どうしても欲しい一勝。最終ステージは大井ふ頭で行われる東京ステージ。東京で開催される数少ないロードレースとあって多くの皆様に駆けつけていただき、大観衆の前、絶好の舞台での開催となりました。

有力選手の逃げが決まり、最後の最後まで捕まえられるのかわからないハラハラする展開が続きます。最終周回で集団が逃げをキャッチするとスプリントに持ち込みたいチームの位置取り争いが活発に。ブリヂストンサイクリングのトレインは残り2kmから最終コーナーまでを河野選手が、最終コーナーから絶好のタイミングで兒島選手が今村選手、窪木選手を引き連れ前に出ます。最後はゴール手前300mからスプリントを開始した今村選手から発射されたのはキャプテン窪木選手。みんなの思いをつなぎ得意のスプリントで余裕をもっての勝利!選手・スタッフ・ファンの皆様、皆が喜びに沸き立ち心を動かされた瞬間でした。



SHIMANO

WAVE ONE



OSTRICH

GARMIN

チームブリヂストンサイクリングHP
<https://www.bsycle.co.jp/anchor/team/>

